

## カブトガニ幼生500匹放流

'09/6/7



カブトガニの生息地として知られる山口県平生町の平生湾で6日、幼生約500匹の放流会があった。保護と増殖に取り組む町が主催。地元の親子連れ約50人が「大きくなあれ」と海に放った。

幼生は体長6—8ミリ。町職員が昨年8月に湾内から卵を持ち帰り、役場で育てた。参加者は「かわいいね」と話しかけながら、バ

ケツからそっと浅瀬に流した。

平生湾には1960年代まで多くのカブトガニが生息したが、コンクリート護岸の整備などで激減した。町は2002年に産卵用海浜をつくり、05年から幼生を放流。昨夏、湾内3カ所で実施した卵塊調査では前年比2倍の136個を確認した。

**【写真説明】** カブトガニの幼生を浅瀬に放つ子どもたち